

開館30周年記念展

さわひらき × サイ・トゥオンブリー
杉戸洋 × ラリー・ベル
野口里佳 × ジョアン・ミロ
福田尚代 × ジョゼフ・コーネル
渡辺信子 × エルズワース・ケリー

ふたつのまどかーコレクション×5人の作家たち Overlapping Circles: 5 Artists Collaborate with the Collection



2020年3月20日(金・祝) – 7月26日(日)
March 20 – July 26, 2020

開館時間 9:30–17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜(ただし5月4日は開館)、5月7日(木)
入館料 一般1,300円(1,100円)
学生・65歳以上1,100円(900円)
小中学生・高校生600円(500円)

※()内は20名以上の団体料金
※5月5日(火・祝)「こどもの日」は高校生以下の入館無料

主催：DIC株式会社 後援：千葉県、千葉県教育委員会、佐倉市、佐倉市教育委員会

DIC川村記念美術館

Kawamura Memorial DIC Museum of Art

千葉県佐倉市坂戸631 | Tel. 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

さわひらき (1977-) × サイ・トゥオンブリー (1928-2011)



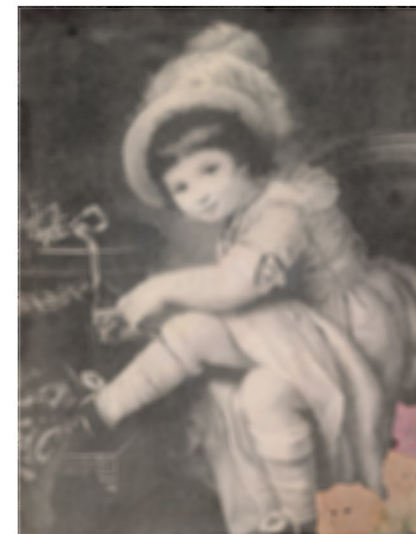
左：さわひらき《Souvenir IV》2012年
右：サイ・トゥオンブリー《無題》1968年 DIC川村記念美術館 © Cy Twombly Foundation



福田尚代 (1967-) × ジョゼフ・コーネル (1903-1972)



左：福田尚代《ラ・シャット・エマイヨールへの手紙》2009-2019年 作家蔵
© Naoyo Fukuda, courtesy Yukiko Koide Presents
右：ジョゼフ・コーネル《ラ・シャット・エマイヨール》1964年頃 DIC川村記念美術館
© The Joseph and Robert Cornell Memorial Foundation / VAGA at ARS, NY / JASPAR, Tokyo 2020 G2099



野口里佳 (1971-) × ジョアン・ミロ (1893-1983)



ふたつのまどかーコレクション × 5人の作家たち

本展はDIC川村記念美術館の開館30周年を記念し、コレクションと現代作家のコラボレーションの機会として企画されました。当館の建物には、エントランスホールの天井照明やステンドグラスをはじめ、「重なる二つの円」のデザインモチーフがちりばめられています。そこには、初代館長・川村勝巳と建築家・海老原一郎の友情の絆、そして鑑賞者と作品が出会う場という意味が込められているのです。

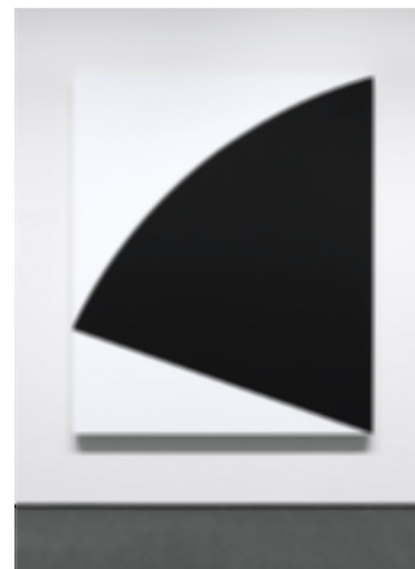
本展はこのモチーフにちなんだタイトルどおり、現在第一線で活躍する5名の作家と当館のコレクション作品との出会いの場となります。現代美術作家の目によってコレクションが読み解かれ、その手によって紡ぎだされる新たなインスタレーションが、ひとつの空間のなかで展開されます。時代をこえたつながり、響きあいをどうぞお楽しみください。

杉戸洋 (1970-) × ラリー・ベル (1939-)

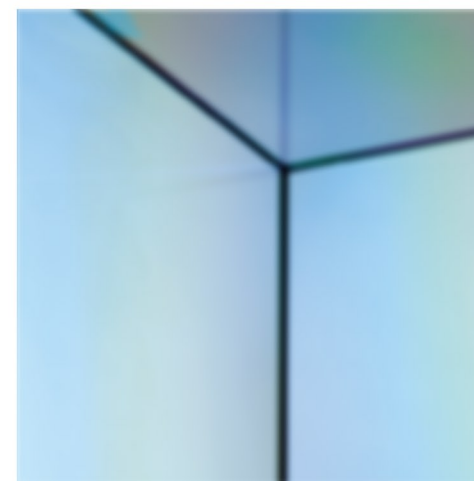


上：野口里佳《クマンパチ #1》2019年 Commissioned by Reborn-Art Festival 2019
© Noguchi Rika, Courtesy of Taka Ishii Gallery
下：ジョアン・ミロ《コンポジション》1924年 DIC川村記念美術館
© Successió Miró / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2020 G2099

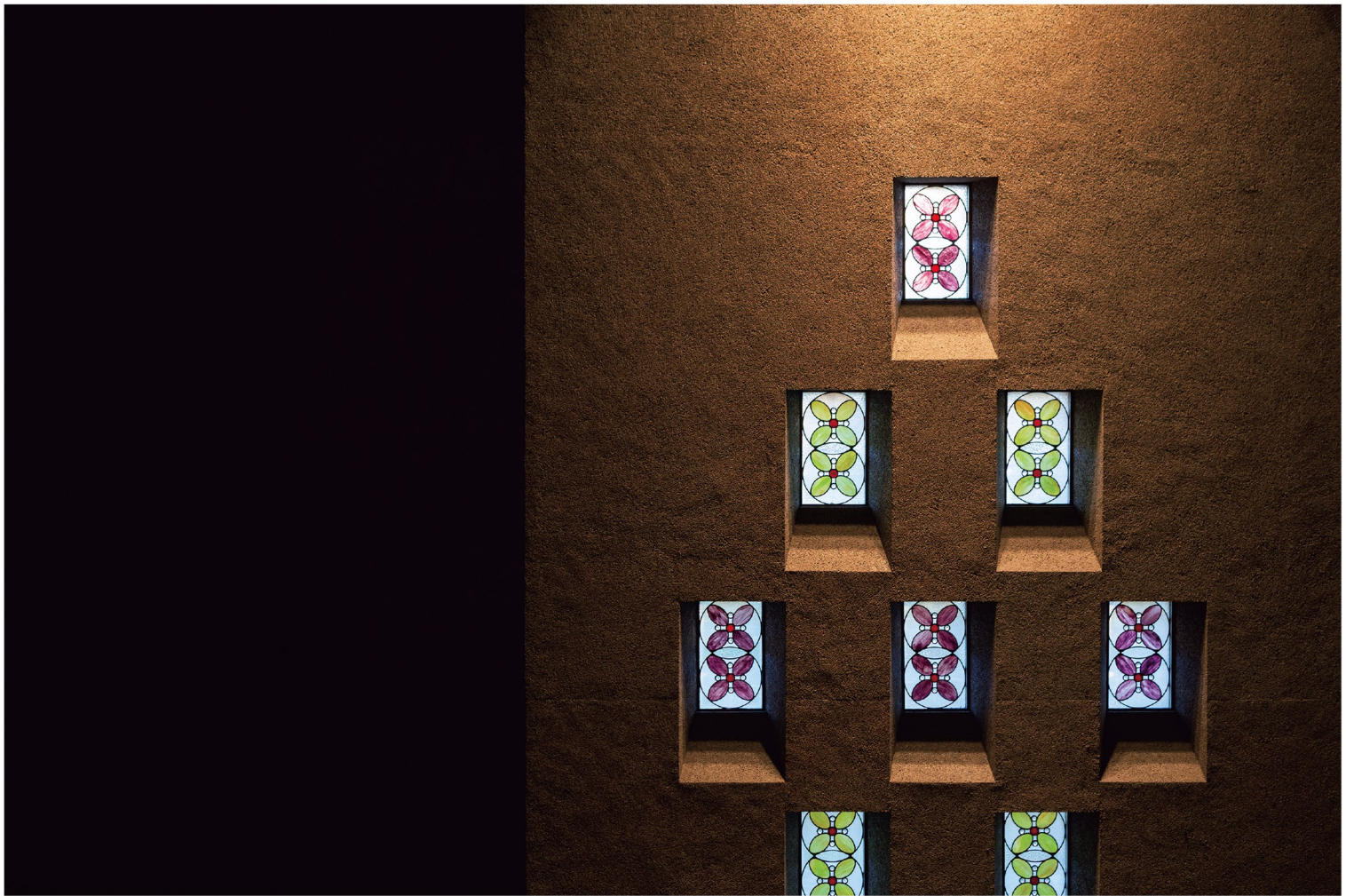
渡辺信子 (1948-) × エルズワース・ケリー (1923-2015)



左：渡辺信子《White and Red》2017年 Arario Gallery 《Dark olive green and White -Corner piece》2017年 作家蔵 photo credit: Arario Gallery, Courtesy of Arario Gallery, Seoul
右：エルズワース・ケリー《ブラック・カーヴ》1994年 DIC川村記念美術館 © Ellsworth Kelly Foundation



上：杉戸洋《Untitled》2019年 作家蔵
下：ラリー・ベル《無題》(部分) 1969年 DIC川村記念美術館
© 2020 Larry Bell / ARS, NY / JASPAR, Tokyo G2099



エントランスホールのステンドグラス（重なる二つの円） Photo: Manami Takahashi

関連プログラム

出品作家によるトークイベント（要予約）

- 3月21日（土） さわひらき（映像作家）
- 4月11日（土） 野口里佳（写真家）
- 5月23日（土） 福田尚代（美術家）
- 6月13日（土） 杉戸洋（美術家）
- 7月4日（土） 渡辺信子（美術家）

詳細とご予約方法は当館ホームページをご覧ください。
<http://kawamura-museum.dic.co.jp>

学芸員によるギャラリートーク

- 3月28日（土）、4月25日（土）、5月30日（土）、
 - 6月27日（土）、7月11日（土）
- 14:00-15:00

予約不要 | 14:00 エントランスホール集合 | 入館料のみ

ガイドスタッフによる定時ツアー

上記イベント開催日を除く毎日 14:00-15:00
 予約不要 | 14:00 エントランスホール集合 | 入館料のみ

表面作品

右：杉戸洋《Untitled》2019年 作家蔵
 左：ラリー・ベル《無題》1969年 DIC川村記念美術館
 © 2020 Larry Bell / ARS, NY / JASPAR, Tokyo G2099

交通案内

自動車で：

東関東自動車道「佐倉IC」より、国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、
 県道22号線（八街横芝線）を八街方面へ約700m直進右手（約10分）、無料駐車場300台

東京駅から高速バスで：

八重洲北口から徒歩5分、京成バス3番のりばから「マイタウン・ダイレクトバス」に乗車（約60分）

【行き】東京駅9:55発→美術館11:02着 【帰り】美術館15:29発→東京駅16:42着

料金：大人片道1,360円 問い合わせ先：ちばグリーンバス 043-481-0808

運行時間などに変更が生じる可能性があります。最新情報は「ちばグリーンバス」へお問い合わせください。

東京駅からJRで：

JR総武快速線エアポート成田で「佐倉駅」下車（約60分）、南口の美術館バス停より無料送迎バス（約20分）

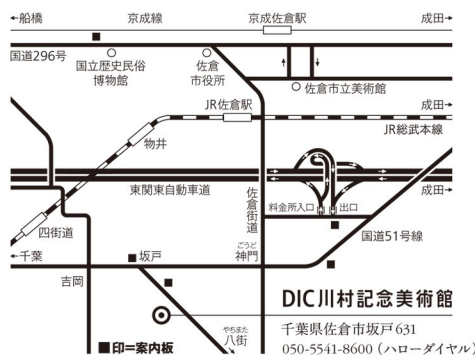
上野駅から京成電鉄で：

京成本線特急または快特の成田方面行きで「京成佐倉駅」下車（約60分）、南口「シロタカメラ」前より無料送迎バス（約30分）

送迎バス時刻表

京成佐倉駅→美術館	8:50	9:10	9:50	10:20	(10:50)	11:20	(11:50)	12:20	(12:50)	13:20	(13:50)	14:20	(14:50)	15:20	15:50
JR佐倉駅→美術館	9:00	9:20	10:00	10:30	(11:00)	11:30	(12:00)	12:30	(13:00)	13:30	(14:00)	14:30	(15:00)	15:30	16:00
美術館→JR佐倉駅→京成佐倉駅			10:50	(11:20)	11:50	12:50 昼	(13:20)	13:50 昼	(14:20)	14:50	15:20	15:50	(16:20)	16:45	17:15

（ ）内は土・日・祝日のみ運行 歴：国立歴史民俗博物館経由 佐：佐倉市立美術館経由 ※左記の館が休館の場合は経由しません



DIC株式会社
 —化学で彩りと快適を提案する—